

火災・救急件数(7月末日現在)

- ◆火災 82件【前年比 +25件】
- ◆救急 11,934件【前年比 +406件】

# 台風シーズン到来 対策は万全に



例年、この時期になると台風が日本列島に接近し、人的な被害のみならず建物や農作物にも多大な被害をもたらします。しかし最近では、予測技術の革新により、台風の進路や被害予測はかなり正確になっています。このことから事前にも十分な準備・対策を怠らなければ被害を最小限に抑えることができるのです。みなさんも万が一に備え、早めの準備を心がけましょう。

## 台風からの準備は おすすですか？

しっかりと

台風対策を  
しましょう！



○テレビやラジオで台風に関する情報に注意し、むやみな外出は控えましょう。

○避難場所、避難経路について家族とよく話し合いました。また、連絡手段も確認しておきましょう。

○風で飛ばされそうなものは補強・固定をしましょう。

○側溝や排水溝が詰まると被害が拡大する恐れがあります。事前に掃除をして水はけを良くしておきましょう。

○停電や断水に備えて懐中電灯、飲料水、非常食の準備をし、いつでも持ち出せる場所に保管しておきましょう。

## 台風とは？



熱帯地方で発生する低気圧は、「熱帯低気圧」と呼ばれますが、北西太平洋や南シナ海で発生する熱帯低気圧のうち中心付近の最大風速が17.2m/s以上のものを日本では「台風」と呼んでいます。台風の半径は約200〜800kmくらいで、ときには直径1,000km、高さ10〜15kmにもおよぶ巨大な空気の渦巻きになることがあります。

台風の中心部には下降気流があつて雲が切れ、風の弱い「台風之眼」が形成され、この眼を中心に左巻き(反時計回り)に回転しています。また、中心の気圧が低くなるほど勢力の強いものになります。台風は進路に対して東側の地域では西側に比べて強い風が吹きやすく、逆に西側の地域では大雨が降りやすいと言われています。

日本列島に接近する台風の進むコースは、おおむね太平洋高気圧の位置や勢力で決まってきます。発生したばかりの台風は、太平洋高気圧の吹き出す風(偏東風)に



のつて北西に進み、大陸からの偏西風に出会うと、太平洋高気圧の周辺を回るようにして北東寄りに向きを変えます。台風が転向せずに、台湾や中国大陸方面に向かうかどうかはこの太平洋高気圧の勢力が関係しています。台風は転向点を過ぎると偏西風にのつて急にスピードを上げ、遅いもので40km/h、速いもので100km/hもの猛スピードで進行するようになります。太平洋高気圧のへりがちょうど日本付近にかかる8、9月が主に日本にとつての台風シーズンになります。

# 今年も救急広場 を開催！



消防局では、救急医療週間の一環として9月15日(日)にニッケルトンプラザで救急広場を開催します。

救急広場では、心肺蘇生法とAED(自動体外式除細動器)を使用した救命処置法や、食べ物のどの奥に詰まった時の対処方法、けがをした人に応急手当を行う方法などを体験しながら学ぶことができます。その他に、水ヨーヨーつり、子ども用防火服の着用体験など、子どもから大人まで楽しく体験・学習ができるように各コーナーを用意しています。

ぜひ、みなさまお誘いあわせのうえ、ご来場ください。

9月9日は救急の日です。「救急の日」は、市民のみなさんに救急業務や救急医療について、正しい知識と理解を深めていただくとともに、救急医療関係者の意識を高めることを目的として昭和57年に定められ、毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む1週間を救急医療週間(今年は9月8日〜9月14日)として、全国各地で救急に関する様々なイベントが行われます。



昨年の救急広場の様子

## 【問い合わせ】

消防局救急課  
Tel 333-2169  
(平日9時〜17時)

## 【協力】

ニッケルトンプラザ

## 【内容】

心肺蘇生法、AEDの使用  
方法、気道異物除去方法、  
けがなどの応急手当の講習、  
水ヨーヨーつり、子ども用  
防火服の着用体験など

## 【場所】

ニッケルトンプラザ  
(鬼高1丁目1-1)

## 【日時】

平成25年9月15日(日)  
13時00分〜15時30分



新浜幼稚園児の皆さん



行徳保育園児の皆さん

## 七夕に夢と 防火の願い



市川市南消防署では、初夏の風物詩である七夕に、管内の新浜幼稚園児と行徳保育園児と一緒に将来の夢と防火の願いを込めて七夕飾りを作成し、道行く市民に火災予防を呼びかけました。



災害発生時の心得

むやみに移動を開始せず  
落ち着いた行動を



大規模な災害が発生すると公共交通機関が運行を停止し、帰宅が困難になることが予想されます。しかし、災害発生時に多くの人が一斉に徒歩で帰宅を始めると、火災や沿道の建物からの落下物などにより負傷する危険があるばかりでなく、災害時に優先されるべき救助・救急活動の妨げとなることもあります。



むやみに移動を開始しない

- まずは自分の身の安全を確保しましょう。
- 職場や集客施設等の安全な場所にとどまりましょう。
- 災害用伝言サービスにより家族の安否や自宅の無事を確かめましょう。
- 交通情報や被害情報などを入手しましょう。

日頃から準備しておきたいこと



- 携帯ラジオや地図を持ち歩きましょう。
- 職場などに歩きやすいスニーカーや懐中電灯、手袋、飲料水、食料などを用意しましょう。
- 事前に家族などと安否確認

災害時帰宅支援ステーションステッカー



コンビニエンスストア等

千葉県石油商業組合に加盟する県内のガソリンスタンド等

こうした店舗には、「災害時帰宅支援ステーションステッカー」が掲示されていますので、日頃から帰宅経路の店舗の場所を確認しておくとうまくいきます。

○帰宅経路のコンビニやガソリンスタンドなどを確認しておきましょう。  
千葉県を含む九都県市では、コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ガソリンスタンド等と災害時における帰宅困難者支援に関する協定を締結しています。  
これらの店舗では、災害発生時に水道水やトイレの提供のほか、道路交通情報などを可能な範囲で提供して頂きます。

救急救命士のワンポイントアドバイス



「食中毒に気を付けましょう。」

食中毒とは、有害・有毒な微生物や化学物質等毒素を含む水や飲食物を口から摂取した結果おこる下痢・嘔吐・発熱症状を起こす疾病（中毒）の総称です。食中毒の原因となる細菌は、高温多湿な環境の中で増殖するため、細菌による食中毒は例年、気温、湿度が高くなる6月頃から増え始め、7～8月が発生のピークになります。食品の衛生管理や調理に気を配り、食中毒を起こさないように注意しましょう。

～ 家庭で出来る食中毒予防の6つのポイント ～

ポイント1 食品の購入

■生鮮食品は新鮮な物を購入しましょう。消費期限をよく確認しましょう。

ポイント2 家庭での保存

■冷蔵や冷凍が必要な食品は、すぐに冷蔵庫や冷凍庫に入れましょう。

■肉、魚、卵などを取り扱う時は、取り扱う前と後に必ず手指を洗いましょう。

ポイント3 下準備

■台所を見渡してみましょ。ゴミは捨ててありますか？タオル等は清潔なものと交換してありますか？せっけんは用意してありますか？

■生の肉、魚、卵を取り扱った後には、手を洗いましょう。

■生の肉や魚を切った後、洗わずにその包丁やまな板で、果物や野菜など生で食べる食品や調理の終わった食品を切ることはやめましょう。

ポイント4 調理

■調理を始める前にもう一度、台所を見渡してみましょ。下準備で台所がよごれていませんか？タオル等は乾いた清潔なものと交換するとともに、こまめに手洗いをしましょう。

ポイント5 食事

■食卓に付く前に手を洗いましょう。

ポイント6 残った食品

■ちょっとでも怪しいと思ったら、口に入れるのはやめましょう。



食中毒予防の三原則は、食中毒菌を「付けない、増やさない、殺す」です。「6つのポイント」はこの三原則から成っています。これらのポイントをきちんと行い、家庭から食中毒を無くしましょう。それでも、もし、お腹が痛くなったり、下痢をしたり、気持ちが悪くなったりしたら、かかりつけのお医者さんに相談しましょう。

第49回千葉県消防操法大会に第17分団が出場

6月30日(日)松戸市消防訓練センターで第32回東葛飾支部消防操法大会が開催され、本市からは市内大会で優勝した第6分団(ポンプ車の部)と第17分団(小型ポンプの部)が出場しました。今年も小型ポンプの部で出場した本市代表の第17分団が、最優秀賞となり、見事千葉県大会に出場しました。同大会では日頃の訓練成果を存分に発揮され、努力賞を受賞しました。



第6分団



第17分団

○小型ポンプの部  
最優秀賞 第17分団  
優秀賞 第2分団  
優良賞 第5分団  
敢闘賞 第3分団  
努力賞 第16分団  
(各部門最優秀賞が東葛大会)

第53回市川市消防団消防操法大会 (6月2日)

○ポンプ車の部  
最優秀賞 第6分団  
優秀賞 第22分団  
優良賞 第23分団

第32回千葉県消防協会東葛飾支部消防操法大会(6月30日)

○ポンプ車の部  
第6分団 努力賞  
○小型ポンプの部  
第17分団 最優秀賞  
(各部門優秀賞まで県大会)



第6分団



第17分団

第49回千葉県消防操法大会 (7月27日)

○小型ポンプの部  
第17分団 努力賞

大会に参加された団員の方々、大変お疲れ様でした。また、各分団員のご家族、自治会等地域住民の方々のご理解とご協力に深く感謝いたします。